

STEP ②

NEC

# 活用マニュアル

ISDNターミナルアダプタ

Aterm® IT60L/D (PC-IT60LD1A)

Aterm® IT60/D(S) (PC-IT60LD1A(S))

1. Atermの表示とボタン操作
2. 便利な電話機能
3. 便利な通信機能
4. さまざまな情報を見る
5. Atermを設定する



# マニュアルの 主な内容

Atermには、次のマニュアルが用意されています



## Step1 「はじめにお読みください」

Atermを使用するために必要な手続き、接続のしかた、基本的な設定、インターネットへの接続までを説明しています。最初にパソコンのOSや電話機別に必要な手続きや設定を図表にして記載しています。初めてAtermを使用するときには、必ずお読みください。



## Step2 「活用マニュアル」

Atermの全ての機能とその操作方法および設定方法について説明しています。「はじめにお読みください」の後にお読みいただき、あなたの通信環境に合わせた設定をおこなってください。



## 「お困りのときには」

Aterm使用中に何かトラブルが起きたときの症状と対策をQ&A方式で説明しています。その他、問い合わせ先やサービスステーション、AtermのホームページのURLも記載しています。「らくらくウィザード」を使ってうまく設定できなかったときの手動によるインターネットの接続の方法やWindowsNT4.0でのインターネットへの接続方法等も記載しています。

# はじめに

本書ではAtermのすべての機能とその操作方法および設定方法を、「Atermの表示とボタン操作」「便利な電話機能」「便利な通信機能」「さまざまな情報を見る」「Atermの設定をする」「付録」のそれぞれの項目に分けて説明しています。

1章の「Atermの表示とボタン操作」では、Atermの前面パネルの説明と液晶ディスプレイの表示メッセージやAtermのボタン操作について説明しています。

2章の「便利な電話機能」では、Atermに接続した電話機を使った機能と操作方法について説明しています。

3章の「便利な通信機能」では、USBポートまたはデータポートを使って通信をするときの機能と操作方法について説明しています。

4章の「さまざまな情報を見る」では、Atermの液晶ディスプレイやパソコンの画面に表示できる情報の種類とその表示方法について説明しています。

5章の「Atermの設定をする」では、パソコンや電話機を使っての設定方法について説明しています。パソコンを使っての設定方法では、らくらくユーティリティの画面を中心に説明しています。

6章の「付録」では、バージョンアップの方法や、ATコマンド、ディップスイッチなどについて、より高度な内容について説明しています。

Atermの持っている機能、その操作方法と設定方法をよくご理解いただき、Atermが備えている機能を使って、より便利な通信環境をお楽しみください。



# もくじ

はじめに .....	i
------------	---

安全に正しくお使いいただくために .....	viii
------------------------	------

## 1 Aterm の表示とボタン操作 ..... 1-1

1-1. Aterm の前面パネルについて .....	1-2
前面パネル .....	1-2
液晶ディスプレイの表示 .....	1-4
1-2. ボタンを使った操作のしかた .....	1-9
着信履歴表示 .....	1-9
着信履歴先発信 .....	1-10
着信履歴先発信する電話機の指定 .....	1-11
累積料金表示 .....	1-12
累積料金の初期化 .....	1-13
初期化（工場出荷時の状態へ戻す） .....	1-14
128kbps マルチリンク PPP 通信中の通信速度の切替え（マニュアルBOD） .....	1-15
ファームウェアのバージョンの確認 .....	1-16

## 2 便利な電話機能 ..... 2-1

2-1. 電話をかける .....	2-2
電話をかける .....	2-2
サブアドレス付きの電話番号にかける .....	2-3
短縮ダイヤル発信 .....	2-3
発信者番号通知 .....	2-4
発信者番号指定 .....	2-5
【#】発信 .....	2-5
内線通話 .....	2-6
三者通話 .....	2-7
受話音量調整 .....	2-9
2-2. 電話を受ける .....	2-10
さまざまな着信機能 .....	2-10
電話を受ける .....	2-11
迷惑電話防止 .....	2-11
識別着信 .....	2-12
識別リングング .....	2-13
マイプライベート着信 .....	2-14
優先着信ポート指定 .....	2-15
自己サブアドレス .....	2-16
着信ダイヤルイン複数選択 .....	2-17
キャッチホン .....	2-17



選択キャッチホン .....	2-19
お出かけ設定 .....	2-20
<b>2-3. 電話を転送する .....</b>	<b>2-26</b>
内線転送 .....	2-26
着信転送 .....	2-27
識別着信転送 .....	2-28
<b>2-4. 着信履歴を見る／かける .....</b>	<b>2-29</b>
着信履歴表示／着信履歴先発信 .....	2-29
<b>2-5. INS ネット 64 のサービスについて .....</b>	<b>2-31</b>
i・ナンバー .....	2-31
ダイヤルインサービス .....	2-32
INS ボイスワープ、INS ボイスワープセレクト .....	2-33
INS なりわけサービス .....	2-34
INS ナンバー・ディスプレイ (オプション: INS ナンバー・リクエスト) .....	2-35
キャッチホン・ディスプレイ .....	2-37
通信中転送 .....	2-39
モデム・ダイヤルイン対応 .....	2-40
アナログ・ダイヤルイン対応 .....	2-41

### 3 便利な通信機能..... 3-1

<b>3-1. 通信機能を利用する .....</b>	<b>3-2</b>
非同期 / 同期 PPP 変換 .....	3-2
128kbps マルチリンク PPP 通信 .....	3-2
BOD (Bandwidth on Demand) 機能 .....	3-3
スティルスコールバック .....	3-6
応答平均化 .....	3-7
無通信監視タイマ .....	3-8
自動ボーレート検出 .....	3-8
強制切断タイマ .....	3-8
識別着信 .....	3-9
自己サブアドレス .....	3-9
着信ダイヤルイン複数選択 (データポート) .....	3-10
CS 遅延時間 .....	3-10
非同期 / 同期自動判別着信、異速度通信 .....	3-10
フロー制御方式 .....	3-11
CTI 機能 .....	3-12
PIAFS (ピアフ) データ通信 .....	3-13
HLC 設定 (HLC が一致する相手と通信する) .....	3-14

# もくじ っづき

3-2.	Windows で USB を使う (Windows98/Windows95, WindowsNT4.0 の場合) .....	3-15
	手動で USB ソフトウェアを設定する .....	3-15
	■ 使用前の準備・インストール .....	3-15
	● Windows98/Windows95 のバージョンを確認する .....	3-16
	● USB ソフトウェアを確認する (Windows95 をお使いの場合のみ) .....	3-16
	● Windows98 へ USB ポート用アダプタを組み込む .....	3-18
	● Aterm の組み込みをおこなう .....	3-27
	アンインストール .....	3-31
	● ドライバソフトウェアをアンインストールする .....	3-31
	Aterm フレックス BOD ユーティリティ for USB .....	3-34
	● Aterm フレックス BOD ユーティリティ for USB の機能 .....	3-34
	● フレックス BOD ユーティリティのインストール .....	3-34
	● らくらくユーティリティでの BOD の設定 .....	3-36
	● フレックス BOD ユーティリティの使い方 .....	3-37
	着信履歴 for USB ユーティリティ .....	3-39
	● 着信履歴 for USB の機能 .....	3-39
	● 着信履歴 for USB のインストール .....	3-39
	● 着信履歴ユーティリティの使い方 .....	3-42
	● 着信履歴 for USB のアンインストール .....	3-44
3-3.	Aterm のメール機能を利用する .....	3-45
	メールサービスについて .....	3-45
	利用するには .....	3-47
	UII メール EX を使う .....	3-48
	Windows98/Windows95, WindowsNT4.0 の場合 .....	3-48
	● UII メール EX をインストールする .....	3-48
	● UII メール EX の環境設定をする .....	3-50
	● アドレス帳に登録する .....	3-53
	● メールを送信する .....	3-55
	● 着信した電子メールや UII メールを見る .....	3-56
	Macintosh の場合 .....	3-57
	● UII メール EX をインストールする .....	3-57
	● UII メール EX の環境設定をする .....	3-57
	● アドレス帳に登録する .....	3-60
	● メールを送信する .....	3-62
	● 着信した電子メールを見る .....	3-63
	テレホン UII メール/テレホン遊遊メール .....	3-64
	● メールを送る .....	3-64
	テレホン UII メールを送る .....	3-64
	テレホン遊遊メールでポケットベル、PHS・携帯電話へ ショートメッセージを送る (遊遊メール利用) .....	3-65
	テレホン遊遊メールで電子メールにメッセージを送る (遊遊メール利用) .....	3-66

テレホン遊遊メールの設定 .....	3-67
●「BIGLOBE」のID 番号の登録 .....	3-67
●PHS・携帯電話、ポケットベルサーバーのドメイン名の登録 .....	3-67
●電子メールアドレスを短縮番号に登録 .....	3-68
●メッセージを作成する .....	3-69
自作伝言文の登録 .....	3-69
定型文入力コード一覧表 .....	3-70
文字入力コマンド一覧表 .....	3-70
●メールを再送信する .....	3-71
●受信したUIIメールを液晶ディスプレイで参照したいとき .....	3-72

## 4 さまざまな情報を見る ..... 4-1

4-1. パソコンで情報を見る (Windows98/Windows95, Windows NT4.0 の場合) .....	4-2
4-2. パソコンで情報を見る (Macintosh の場合) .....	4-4
4-3. Aterm のディスプレイで情報を見る (電話機から操作する) .....	4-5
累積料金の表示 .....	4-5

## 5 Aterm を設定する ..... 5-1

5-1. パソコンで設定する (Windows98/Windows95, Windows NT4.0 での設定) .....	5-2
らくらくユーティリティの起動のしかた .....	5-2
各画面の設定のしかた .....	5-2
設定が終わったら .....	5-2
[IT60L らくらくユーティリティ] 画面 .....	5-3
●アナログポートの設定 .....	5-3
●電話番号テーブル (契約者回線番号/ダイヤルイン番号を登録) .....	5-5
●電話番号テーブル (i・ナンバーを登録) .....	5-6
●番号の送付方法 .....	5-7
●アナログポートの高度な設定 .....	5-8
電話帳に登録する .....	5-9
●短縮ダイヤル用の電話帳に登録する .....	5-10
●マイプライベート着信用の電話帳に登録する .....	5-11
●疑似識別着信用の電話帳に登録する .....	5-12
●疑似なりわけ用の電話帳に登録する .....	5-13
●迷惑電話防止用の電話帳に登録する .....	5-14
●アナログポートの共通設定 (着信) .....	5-15
●アナログポートの着信転送機能の設定 .....	5-16
●アナログポートのボイスワープの設定 .....	5-18

# もくじ っづき

●アナログポートの共通設定（その他）	5-19
●データポートの設定	5-20
●電話番号に関する設定	5-20
●データポートの高度な設定	5-21
●MP・BOD機能の設定	5-22
●自動切断タイマに関する設定	5-23
●信号線に関する設定	5-24
●電子メールに関する設定	5-24
●その他の機能に関する設定	5-25
●バージョン情報を見る	5-26
●らくらくユーティリティを終了する	5-26
●初期化する	5-27
<b>5-2. パソコンで設定する (Macintosh での設定)</b>	<b>5-28</b>
らくらくユーティリティの起動のしかた	5-28
<b>簡易設定</b>	<b>5-30</b>
● 共通アドレスの登録 (契約者回線番号/ダイヤルイン番号の設定)	5-30
● 共通アドレスの登録 (i・ナンバーの設定)	5-31
●アナログポートの設定	5-32
●アナログポート共通登録	5-34
<着信転送>	5-35
●データポート登録	5-37
● 電話番号の登録	5-38
<短縮ダイヤル番号登録>	5-39
● お出かけ設定	5-40
<ボイスワープ転送モード>	5-41
<b>詳細設定</b>	<b>5-42</b>
●アナログポートの登録	5-43
<情報通知サービスの設定>	5-44
<停電モードの設定> (アナログ A ポート)	5-45
●データポート登録	5-46
● BOD (Bandwidth On Demand) 機能	5-47
●データポート信号制御の設定	5-47
らくらくユーティリティを終了する	5-48
初期設定値に戻す	5-48
<b>5-3. 電話機で設定する</b>	<b>5-49</b>
設定のしかた	5-49
設定項目一覧	5-50
ご購入時の初期設定値に戻すときは	5-53
日付・時刻を設定する	5-54
液晶ディスプレイのバックライトを設定する	5-55
迷惑電話防止機能を使う	5-56

.....

<b>6 付録</b> .....	<b>6-1</b>
6-1. バージョンアップのしかた.....	6-2
■ 起動する前に.....	6-2
Windows®98/Windows®95, WindowsNT®4.0の場合.....	6-2
Macintoshの場合.....	6-5
6-2. OCNエコノミーについて.....	6-7
Atermの設定.....	6-7
パソコンの設置と通信のしかた.....	6-8
6-3. ATコマンド.....	6-9
ATコマンドの説明.....	6-9
コマンド.....	6-11
Sレジスタ.....	6-32
リザルトコード.....	6-33
6-4. 切断理由表示・診断情報表示・生成源表示一覧.....	6-36
6-5. ディップスイッチについて.....	6-40
6-6. D-SUB 9ピン インタフェース.....	6-41
6-7. 仕様.....	6-42
仕様一覧.....	6-42
6-8. ホームテレホン/ビジネスホンとの接続.....	6-45
必要な設定.....	6-45
6-9. 別売オプション.....	6-46
6-10. S点ユニットについて.....	6-47
S点ユニットについて.....	6-47
S点ユニットカバーの取り外しかた.....	6-47
6-11. 索引.....	6-48
6-12. 設定記入シート.....	6-54

# 安全に正しくお使いいただくために

本書は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくための注意事項を示してあります。

## ⚠ 危険

### アルカリ乾電池ご使用上の注意

- アルカリ乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



## ⚠ 警告

### もしもこんなときは

#### ● 発煙への対処

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



#### ● 水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水などがに入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



#### ● 異物が装置内部に入った場合の対処

本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



# 警告

## ● 電源コードが傷んだ場合の対処

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。



## ● 破損時の対処

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



## 禁止事項について

### ● 分解・改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



### ● めらすことの禁止

本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。



### ● めれた手で操作の禁止

めれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



## その他ご注意

### ● 異物を入れないための注意

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために

# 警告

## アルカリ乾電池ご使用上の注意

- 電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 新しい電池と一度使用した古い電池、種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池を入れるとき、電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。



# 注意

## 電源について

- 移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 長期不在時の注意  
長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、停電用電池も取りはずしてください。







## 注意

### ● 電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に一回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



### 禁止事項について

### ● 乗ることの禁止

本装置に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



### 雷のときの注意

### ● 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



### アルカリ乾電池ご使用上の注意

### ● 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液漏れや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。



- ・ 使用推奨期限の単3 アルカリ乾電池をお使いください。  
(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。)
- ・ 停電がなくても、1年に1度の割合で新しい電池と交換してください。長期間のあいだ電池を装着したままでご使用になると電池が漏液するおそれがあります。
- ・ 電池を保管する場合及び廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものとは混ぜると、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・ 電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- ・ 電池を入れた電池ホルダ側の側面を、発熱する機器の近くや直射日光・高温・高湿の場所に置かないでください。  
また、通風孔をふさがないでください。漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・ 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。  
過放電、高温放置による電池の液漏れでの装置の故障については当社は保証いたしかねます。
- ・ 電池に直接ハンダ付けをしないでください。
- ・ 電池を取りはずした場合は、小さなお子様が電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへおいてください。



安全に正しくお使いいただくために

## STOP お願い

### 禁止事項について

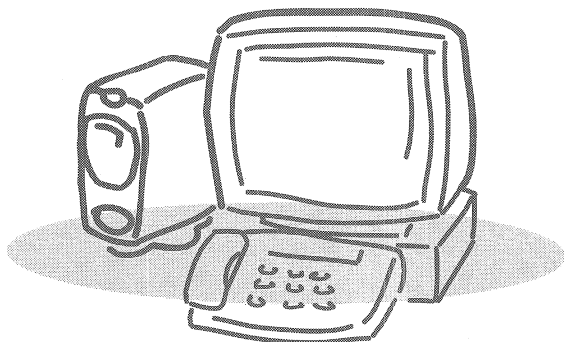
- 動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

### お使いのとき

- 本装置プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。  
プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上及び機能上は問題ありません。安心してお使いください。

### 日頃のお手入れ

- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。



# 1 Atermの表示とボタン操作

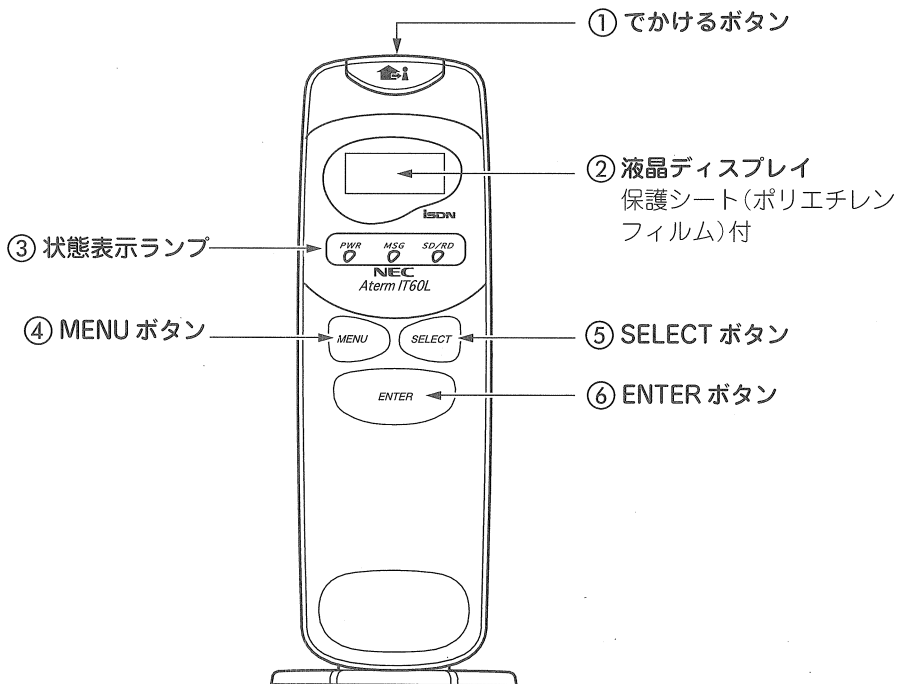
ここではAtermの前面パネル、液晶ディスプレイ、ボタンによる操作のしかたについて説明しています。

Atermの液晶ディスプレイに表示された内容やボタンを使った操作のしかたを知りたいとき等に参照してください。

# 1-1. Atermの前面パネルについて

## 前面パネル

Atermの前面にあるパネルのはたらきについて説明します。



### ① でかけるボタン

お出かけ設定をするときに押します。ボタンが点灯します。お出かけ設定時に着信があると点滅します。もう一度ボタンを押すとお出かけ設定を解除し、ボタンを消灯します。

### ② 液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイには、回線や通信機器の使用状況、設定時の内容、日時の表示などを絵文字（ピクトグラム）やメッセージで表示します。

### ③ 状態表示ランプ

#### PWR ランプ (POWER)

- 電源が入っているときに、緑色に点灯します。
- 電池で動作しているときは、緑色に速く点滅します。(1秒間に2回) 電池の残量が少なくなると、点滅が遅くなります。(1秒間に1回)

## MSG ランプ

(MESSAGE)

- 電子メール着信通知、UUI メールが入っているときに、オレンジ色に点滅します。

## SD/RD ランプ

(Send Data/Receive Data)

- パソコンから Aterm にデータが送られているときに、緑色に点滅します。
- Aterm からパソコンにデータが送られているときに、赤色に点滅します。
- USBポートでデータ通信をおこなっているときは、点灯/点滅はしません。

## ④ MENU ボタン

各種の設定をするときに押します。設定中にMENUボタンを押すとキャンセル(解除)のはたらきをします。

## ⑤ SELECT ボタン

設定をするときの設定項目を変えるときに押します。ボタンを押すたびに設定項目が変わります。

## ⑥ ENTER ボタン

設定項目を決めるときに押します。128kbps マルチリンク PPP 通信中にENTER ボタンを押すと、通信速度を変えること (64kbps ↔ 128kbps) もできます。

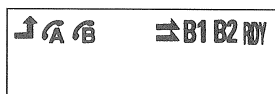
# 液晶ディスプレイの表示

Atermの前面上部にあるバックライト付き液晶ディスプレイには、Atermの設定状態や使用中の通信状態などの様々な情報を表示します。

電話機を使用しているのがパソコンを使用しているのが、64kbps通信中が128kbps通信中か、などの情報を絵文字（ピクトグラム）で表示します。

また、電話番号や通話料金等の詳細情報、機能設定のガイダンス表示を12文字×2行の文字情報表示（英数カナ）でおこないます。

## 絵文字（ピクトグラム）



フレックスホンの着信転送や疑似着信転送が設定してあるときに表示されます。



アナログ(A, B)ポートに接続している通信機器の受話器をあげているときに表示されます。



データ通信中に表示されます。

- ➡ 1つのBチャンネルでデータ通信中(64kbps)
- ⇄ 2つのBチャンネルでデータ通信中(128kbps)



B1チャンネル、B2チャンネルを使用中に表示されます。









データポートまたはUSBポートにパソコンが接続され、パソコンのER (Equipment Ready) 信号がオンしているときに表示されます。




## 電源を入れた後の表示

状態	表示
INS ネット 64 の同期がとれているとき	<div data-bbox="725 1155 1001 1230">12月 1日 9:47</div> <p>※日時は例です。</p>
INS ネット 64 の同期がはずれているとき レイヤ 1 がはずれているとき	<div data-bbox="725 1302 1001 1377">カイセンショウカ<sup>イ</sup> レイヤ1タ<sup>ウン</sup></div>
レイヤ 2 がはずれているとき	<div data-bbox="725 1401 1001 1476">カイセンショウカ<sup>イ</sup> レイヤ2タ<sup>ウン</sup></div>


## 通信状態の表示

### ●アナログポートを使用しているとき

通信状態		表示	備考
発信	電話機の手話器をあげる	 12月 1日 9:47	アナログAポートの例
	相手番号をダイヤルし、#を押す (#を押さないときは5秒後に発信します)	 アナログ A ハッシン XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXは電話番号
	発信後20秒経過	 12月 1日 9:47	
	相手応答	 B1 12月 1日 9:47	B1チャンネルで通信した例
着信	電話やファクスに着信あり	アナログ チャクシン XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXは相手電話番号
	手話器をあげる	 B1 12月 1日 9:47	アナログAポートの例 B1チャンネルで通信した例
切断	切断する	アナログ A セツタン YYY ZZZ円	yyy 切断理由 zzz 通信料金(発信のみ)
	切断後20秒経過	12月 1日 9:47	
着信転送	着信転送設定時、着信あり	 アナログ チャクシン XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXは電話番号
	転送完了	 テンソウシマシタ	転送失敗時は 「テンソウシッパイ」
	転送後5秒経過	 12月 1日 9:47	NTT 着信転送の例

	通信状態	表示	備考
内 線 通 話	電話機の手話器をあげる	 12月 1日 9:47	アナログ A ポートの例
	内線番号をダイヤルし、#を押す	 アナログ チャクシン ナイセン A→B	アナログ A ポートから B ポートに発信する例
	着信側が電話機の手話器をあげる	 12月 1日 9:47	

●データポート / USBポートを使用しているとき

	通信状態	表示	備考
発 信	パソコンに発信コマンドを入れる	RDY データ ハッシン XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは電話番号
	発信後 20 秒経過	RDY 12月 1日 9:47	
	相手応答	 B1 RDY 12月 1日 9:47	B1チャンネルで通信した例
着 信	パソコンに着信あり	RDY データ チャクシン XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手電話番号
	通信中	 B1 RDY 12月 1日 9:47	B1チャンネルで通信した例
切 断	切断する	RDY データ セツタン Y Y Y z z z 円	yyy 切断理由 zzz 通信料金(発信のみ)
	切断後20秒経過	12月 1日 9:47	



● USBポートを使用しているとき（補足説明）

状態	表示	備考
USBポートとパソコンが接続	12月 1日 9:47 USB by Aterm	Aterm用USBドライバがパソコンにインストールされて、AtermのUSBポートが認識されているときに表示されま す。

● お出かけ設定

状態	表示	備考
おやすみモードを設定しているとき	12月 1日 9:47 オヤスミ	
電話着信転送モードを設定しているとき	↑ 12月 1日 9:47 テンワテンソウ	
ボイスワープ転送モードを設定しているとき	12月 1日 9:47 ホ イスワープ	
フラッシュモードを設定しているとき	12月 1日 9:47 フラッシュ	

● でかけるボタンロック

状態	表示	備考
でかけるボタンをロックしたとき	テ° カケルボ° タンヲ ロックシマシタ	設定時5秒間表示されます。
でかけるボタンのロックを解除したとき	テ° カケルボ° タンヲ ロックカイシ° ヨシマシタ	設定時5秒間表示されます。

## INS ナンバー・ディスプレイ表示

着信時、Atermの液晶ディスプレイに電話番号が表示されるのは、INS ネット64が相手の電話番号を通知してきた場合のみです。キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合も表示される内容は同じです。

INS ネット64が電話番号を通知できる（液晶ディスプレイに電話番号が表示される）のは次の場合です。

- ① 相手がINS ネット64に加入していて、発信者番号通知をおこなう設定になっている場合。
- ② デジタル携帯電話またはPHSからの着信で、発信者番号通知をおこなう設定にしている場合。
- ③ INS ネット64のINS ナンバー・ディスプレイサービス（有料）を着信側が契約し、相手がアナログ網からの発信で番号通知サービスを「184」ダイヤル等で解除しなかった場合。

### ●電話番号を通知してこない着信の場合

状 態	表 示
相手が「通常非通知（回線ごと非通知）」、 または「184」を付けた場合	アナログ・チャクシン P：ヒツウチ
相手が公衆電話からかけた場合	アナログ・チャクシン C：コウシュウテンワ
相手がサービス地域以外からかけた場合	アナログ・チャクシン O：ヒョウジケンガイ

# 1-2. ボタンを使った操作のしかた

Aterm 前面のボタン (MENU、SELECT、ENTER) を使って、次のことができます。

- 着信履歴表示
- 着信履歴先発信
- 着信履歴先発信する電話機の指定
- 累積料金表示
- 累積料金の初期化
- 初期化
- 128kbps マルチリンク PPP 通信中の通信速度の切替え
- ファームウェアのバージョンの確認

でかけるボタンを使った「お出かけ設定」については、「お出かけ設定」をご覧ください。

☎2-20 ページ

## 着信履歴表示

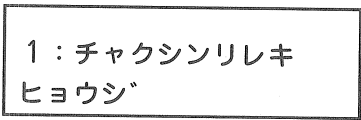
アナログポートの最新の着信履歴を Aterm の液晶ディスプレイに表示します。

① MENU ボタンを押します

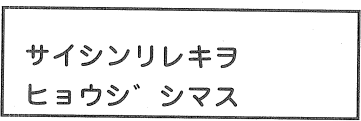
Aterm の液晶ディスプレイ



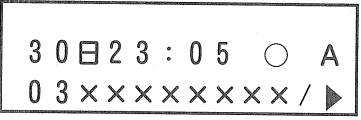
② ENTER ボタンを押します



③ もう一度 ENTER ボタンを押します  
最新着信履歴が表示されます。



↓ 5 秒後



表示例

- さらに前の着信履歴を表示させるときは、SELECT ボタンをくり返し押します。最大 50 件までの着信履歴を表示することができます。
- 通常表示に戻すときは、MENU ボタンを押します。  
また、20 秒間ボタン操作がおこなわれないと、自動的に通常表示に戻ります。
- ディスプレイの表示の見方については、「2-4. 着信履歴を見る / かける」を参照してください。☎2-29 ページ

## 着信履歴先発信

着信履歴に表示された電話番号に発信します。

- ① MENU ボタンを押します

Aterm の液晶ディスプレイ

1 : チャクシンリレキ

- ② ENTER ボタンを押します

1 : チャクシンリレキ  
ヒョウジ

- ③ もう一度 ENTER ボタンを押します  
最新着信履歴が表示されます。

サイシンリレキヲ  
ヒョウジ シマス

↓ 5秒後

30日23:05 ○ A  
03XXXXXXXXXX / ▶

- ④ SELECT ボタンを押して、履歴先発信をする  
電話番号を選びます  
最大50件までの着信履歴を表示することができます。

- ⑤ ENTER ボタンを押します  
あらかじめ指定しておいた着信履歴先発信をする  
電話機の呼出音が鳴ります。

ハッシンチュウ

- Atermでは、あらかじめアナログAポートに接続した電話機を着信履歴先発信する電話機として指定してあります。指定する電話機を変更するときは、「履歴先発信する電話機の指定」をご覧ください。☞次ページ

- ⑥ 呼出音の鳴っている電話機の受話器をあげると、着信履歴先の電話番号に発信します  
通話が終わって受話器を置くと、通常の表示に戻ります

A

アナログ A ハッシン  
03XXXXXXXXXX

アナログAポートからの発信の例

## 着信履歴先発信する電話機の指定

着信履歴先発信をする電話機を変更します。

① MENU ボタンを押します

Aterm の液晶ディスプレイ

1 : チャクシンリレキ

② ENTER ボタンを押します

1 : チャクシンリレキ  
ヒョウジ

③ SELECT ボタンを押します

2 : ハッシンホ° ート  
センタク

④ ENTER ボタンを押します

ハッシンホ° ートヲ  
センタクシマス

↓ 5秒後

ホ° ートA

⑤ SELECT ボタンを押して、指定する電話機の接続してあるアナログポートを選び、ENTER ボタンを押します

SELECT ボタンを押すたびに、  
ポートB → ポートA → と変わります。

ホ° ートBヲ  
センタクシマシタ

アナログBポートに接続してある電話機を選んだ場合の例

↓ 5秒後

5秒間表示してから通常表示に戻ります。

12月 1日 9:47

## 累積料金表示

ポートごとの累積料金を表示します。

- ① MENU ボタンを押します

Aterm の液晶ディスプレイ

1 : チャクシンリレキ

- ② SELECT ボタンを押します

2 : リョウキン

- ③ ENTER ボタンを押します  
データポートの累積料金が表示されます。

ルイセキ データ  
310円

- ④ SELECT ボタンを押して、累積料金を表示させる  
ポートを選びます  
SELECT ボタンを押すたびに、アナログAポート  
→アナログBポート→データポート→の順に累  
積料金を表示していきます

ルイセキ アナログ A  
50円

- 通常の表示に戻すときは、MENU ボタンを押します。  
また、20 秒間ボタン操作がおこなわれないと、自動的に通常表示に戻ります。

## 累積料金の初期化

累積料金を初期化します。

① MENU ボタンを押します

Aterm の液晶ディスプレイ

1 : チャクシンリレキ

② SELECT ボタンを 3 回押します

4 : ショキカ

③ ENTER ボタンを押します

ショキカメニューヲ  
センタクシマス



5 秒後

1 : ルイセキカキンノ  
ショキカ

④ ENTER ボタンを押します

- 初期化をしたくないときは、MENU ボタンを押します。通常表示に戻ります。

ルイセキカキン  
ショウキョシマスカ?

⑤ もう一度、ENTER ボタンを押します

5 秒間表示してから、通常表示に戻ります。

ショウキョシマシタ



5 秒後

12月 1日 9:47

## 初期化（工場出荷時の状態へ戻す）

設定値を工場出荷時状態へ戻します。

① MENU ボタンを押します

Aterm の液晶ディスプレイ

1 : チャクシンリレキ

② SELECT ボタンを3回押します

4 : ショキカ

③ ENTER ボタンを押します

ショキカメニューラ  
センタクシマス

④ SELECT ボタンを押します

- 工場出荷時状態への初期化をすると、設定した内容が全て消去されますのでご注意ください。

2 : コウジ ヨウシュッカ  
ジ ニショキカ

⑤ ENTER ボタンを押します

- 初期化をしたくないときは、MENU ボタンを押します。通常表示に戻ります。

コウジ ヨウシュッカジ  
ニショキカシマスカ?

⑥ もう一度、ENTER ボタンを押します

初期化が終了すると、工場出荷状態の表示に戻ります。

ショキカチュウ

工場出荷状態の表示

1月 1日 0 : 00



# 128kbpsマルチリンクPPP通信中の通信速度の切替え(マニュアルBOD)

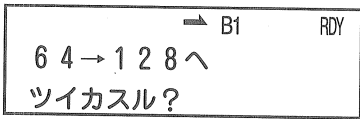
128kbpsマルチリンクPPP通信中にENTERボタンを押すと通信速度を切り替えることができます。

マニュアルBODを使用する場合は、あらかじめリソースBODを設定しておいてください。

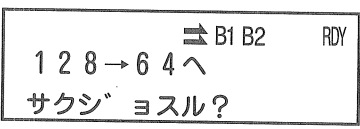
☞3-4 ページ

## Atermの液晶ディスプレイ

- ① 128kbps マルチリンク PPP 通信中に ENTER ボタンを押します  
通信速度 64kbps で通信しているとき



通信速度 128kbps で通信しているとき



- 128kbps マルチリンク PPP 通信以外のデータ通信中に ENTER ボタンを押すと、「シヨウデキマセン」と5秒間表示されます。

- ② もう一度 ENTER ボタンを押します  
液晶ディスプレイに表示されている通信速度に切り替わり、ピクトグラムの表示も変わります。

通信速度を 64kbps から 128kbps にしたとき  
5秒間表示してから、前の表示に戻ります。



通信速度を 128kbps から 64kbps にしたとき  
5秒間表示してから、前の表示に戻ります。



- 通信速度を切り替えたくないときは、MENUボタンを押します。通常表示に戻ります。



スループット BOD の設定をしている場合、データ量が少ないと ENTER ボタンを押しても 128kbps に切り替わりません。

## ファームウェアのバージョンの確認

Atermの不揮発メモリに記憶されているファームウェアのバージョンを確認することができます。

- ① Aterm 前面の MENU ボタンを押します

Aterm の液晶ディスプレイ

1 : チャクシンリレキ

- ② SELECT ボタンを 4 回を押します

5 : バージョン

- ③ ENTER ボタンを押します

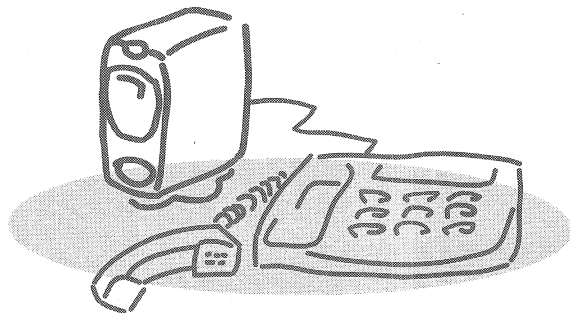
現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

バージョン 1.40

(ファームウェアのバージョンの数値は一例です)

- ④ MENU ボタンを押します  
通常の表示に戻ります。

12月 1日 0:00



## 2 便利な電話機能

Atermの持っている便利な電話の機能について説明します。

# 2-1. 電話をかける

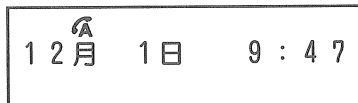
## 電話をかける

### 操作方法

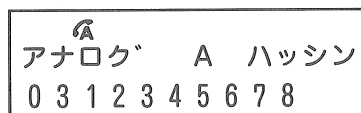
ここでは、基本的な電話のかけ方を説明します。詳しくは、Atermに接続した電話機の説明書をご覧ください。

- ① 受話器をあげます  
「ツーン」という発信音が聞こえ液晶ディスプレイに使用しているアナログポート名が表示されます。
- ② 相手の電話番号をダイヤルします  
ダイヤル後、約5秒後（工場出荷時の値です。ダイヤル桁間タイマの設定により変更できます）に発信します。【#】を押すとすぐに発信します。（【#】発信 ☞ 2-5 ページ）
- ③ 通話が終わったら受話器を置きます

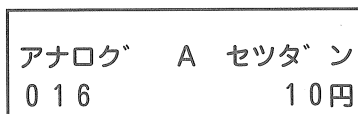
### Atermの液晶ディスプレイ



アナログAポートに接続してある受話器をあげた場合の例



アナログAポートで発信した場合の例



切断理由を表示  
☞ 6-36 ページ

今かけた通話料金を表示

### 番号を間違えたときは

受話器を置いて、①からやり直してください。



LCR機能を内蔵している機器を接続する場合は、「ダイヤル桁間タイマ」を9秒以上に設定してください。初期値の5秒のままですと、発信や着信、LCRデータの自動ダウンロードがうまくできないことがあります。

Windows®98/Windows®95, WindowsNT®4.0 ☞ 5-8ページ

Macintosh ☞ 5-43 ページ

電話機 ☞ 5-50 ページ

Windows®98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略です。

Windows®95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略です。

WindowsNT®4.0は、Microsoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

## サブアドレス付きの電話番号にかける

(相手がINSネット64に加入している場合、サブアドレス付きの電話発信がおこなえます。)

電話番号とサブアドレスの間に【\*】を入れます。

電話番号(03-XXXX-XXXX)、サブアドレス(100)にかけるときは、

【03XXXXXXXX】【\*】【100】とダイヤルします。

## 短縮ダイヤル発信

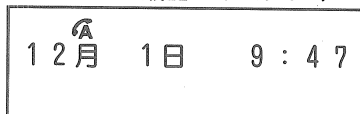
Atermに登録した短縮ダイヤル(0~9)を電話機からかけることができます。短縮ダイヤルは10件まで登録できます。

### 操作方法

#### ① 受話器をあげます

「ツ」という音が聞こえ液晶ディスプレイに使用しているアナログポート名が表示されます。

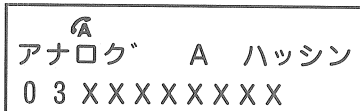
### Atermの液晶ディスプレイ



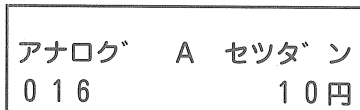
アナログAポートに接続している受話器をあげた場合の例

#### ② 【\*】【短縮ダイヤル番号】

例: 短縮ダイヤル「0」に登録した電話番号にかける場合【\*】→【0】と押します。



#### ③ 通話が終わったら受話器を置きます



### 設定方法

相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ㊦ 5-10 ページ

Macintosh ㊦ 5-38 ページ

電話機

受話器をあげる→【\*】【\*】【1】【\*】【4】【\*】【下記】【\*】【電話番号】【#】【#】→受話器を置く

50~59:電話番号

60~69:サブアドレス(サブアドレスが必要な場合のみ)

## 発信者番号通知

### (自分の電話番号を相手に知らせる)

INS ネット 64 の基本サービスで、発信者番号（契約者回線番号または i・ナンバー / ダイヤルイン番号）を相手に通知する機能です。

「INS ネット 64 契約」、「Aterm の設定」、「ダイヤル前の 184、186」によって、相手に通知する / しないを選択することができます。

「INS ネット 64 契約」 : INS ネット 64 加入時に選択した発信者番号通知サービスの契約種別には、「通話ごと非通知」、「回線ごと非通知」があります。

「Aterm の設定」 : Aterm の設定には、「通知する」、「通知しない」、「INS ネット 64 申込内容に従う」があります。

「ダイヤル前の 184、186」 : 電話番号の前に付加して発信者番号を通知する / しないを指定するダイヤル操作には「184（通知しない）」、「186（通知する）」があります。

### 「INS ネット 64 契約」、「Aterm の設定」の組合せによる通知する / 通知しない

		Aterm の設定		
		※通知しない	※通知する	INS ネット 64 申込内容に従う (初期値)
INS ネット 64 契約	通常通知 (通話ごと非通知)	通知しません	通知します	通知します
	通常非通知 (回線ごと非通知)	通知しません	通知します	通知しません

既に「常時通知拒否」をご契約の場合 : いかなる設定でも通知しません（「184、186」は利用できません）。

### 設定方法

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☎5-4 ページ

Macintosh ☎5-32 ページ

電話機

受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][下記][\*][0][9][\*][下記][#][#]→受話器を置く

1:Aポート

2:Bポート

0:発信者番号を通知しない

1:発信者番号を通知する

2:INS ネット64の申込内容に従う

### 補足説明

通知する発信者番号は発信者番号指定（☎次ページ）で設定します。何も設定しないときは INS ネット 64 が契約者回線番号を通知するようになります。

## 発信者番号指定

### (相手に知らせる自分の電話番号を指定する)

発信時に相手に通知する電話番号を指定します。

ポート毎に契約者回線番号やi・ナンバー/ダイヤルイン番号から選んで指定することができます。

#### 設定方法

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☞ 5-5 ページ

Macintosh ☞ 5-32 ページ

電話機

(i・ナンバーを契約の場合… ①と②の設定をします)

① 受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][5][\*][9][0][下記][\*][電話番号][#][#][#]→受話器を置く

1:i・ナンバー情報1を登録

2:i・ナンバー情報2を登録

② 受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][下記][\*][9][5][\*][下記][#][#]→受話器を置く

1:Aポート

1:i・ナンバー情報1

2:Bポート

2:i・ナンバー情報2

(ダイヤルインサービスを契約の場合)

受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][下記][\*][9][2][\*][電話番号][#][#]→受話器を置く

1:Aポート

契約者回線番号

2:Bポート

またはダイヤルイン番号

#### 補足説明

発信者番号が通知されるようにINS ネット64とAtermが設定されていれば、指定した電話番号が相手に通知されます。

## 【#】発信

### (電話番号をすぐ発信する)

ダイヤル後、約5秒で発信(ダイヤル桁間タイマ ☞ 2-2 ページ)しますが、【#】を押すとすぐに発信します。(工場出荷時に設定済)

#### 設定方法

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☞ 5-19 ページ

Macintosh ☞ 5-34 ページ

電話機

受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][4][\*][7][5][\*][下記][#][#]→受話器を置く

0:#発信しない

1:#発信する(初期値)

2:# #発信する

#### 補足説明

途中に【#】がはいる電話番号にかけるときは、【#】発信を「#発信しない」または「# #発信する」に設定してください。

## 内線通話

### (内線電話同士で通話する)

Atermのアナログポート間で通話することができます。

#### 操作方法

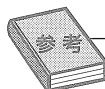
- ① 受話器をあげます
- ② 【#】【\*】【呼び出す電話機の番号】を続けて押します  
アナログ A ポート：【1】  
アナログ B ポート：【2】
- ③ 呼出音が鳴り、相手が受話器をあげれば通話できます
- ④ 通話が終わったら受話器を置きます

#### 設定方法

初期状態で使用できます。

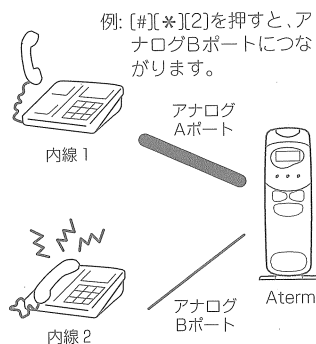
#### 補足説明

- INS ネット 64 に接続していなくても内線通話することができます。
- 停電時のご利用できません。
- 内線通話中に外線から着信があるとプップッと音がして着信を知らせます。フッキングをすると内線を切って、外線と通話ができるようになります。
- ダイヤル後、すぐに発信させるには、最後に【#】を押します。



フッキングとは、電話機のフックスイッチを軽く押しはなすことをいいます。

フッキング検出時間より長くフッキングをおこなうと通話中の場合、その電話が切断されます。



アナログ A ポートに接続されている電話機からアナログ B ポートに接続されている電話機を呼び出した場合の例



## 三者通話

### (三人同時に話す)

外線通話中に、第三者を外線で呼び出して三者間で通話することができます。三者通話には次の2種類があります。

#### 1. 疑似三者通話

Atermの機能として疑似的に三者通話をおこなうので、INS ネット64の付加サービス契約をしなくても利用することができますが、INS ネット64のB1、B2チャンネルを両方使うので、他の通信はできません。

#### 2. INS ネット64の付加サービスフレックスホンの三者通話

INS ネット64の付加サービス契約が必要になり、月々の付加サービス使用料がかかりますが、疑似三者通話と違い、使用するBチャンネルは1つだけなので空いているポートを使用することができます。また、切り替えて二者で話すモード(切替モード)と三者同時に話すモード(ミキシングモード)があります。

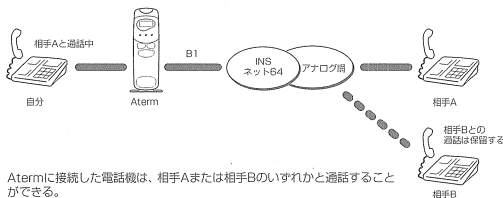
### 利用条件

- 疑似三者通話中は、他の通信はできません。
- 疑似三者通話を使用した場合、通信中転送機能は使用できません。
- 疑似三者通話を使用した場合、ミキシングモードから切り替えて二者で話す切替モードへの切り替えはできません。
- 疑似三者通話中に徐々にユーティリティを終了すると、電話機からノイズが聞こえる場合があります。
- フレックスホンの三者通話を使用する場合は、通信中転送も併せてお申し込みください。
- 疑似三者通話の切断時には、最新の発信時の通話料金が表示されます。

### 動作

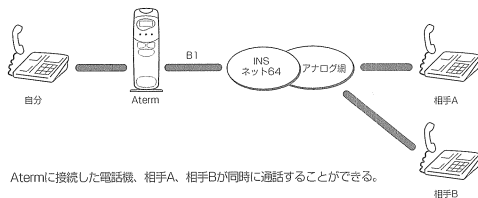
#### ● 切替モード(切り替えて二者で話す)

通話中の相手を切り替えて通話します。同時に話しをできるのは二人になります。



#### ● ミキシングモード(三者同時に話す)

三者同時に話しができます。



## 操作方法

### ● 切り替えて二者で話す

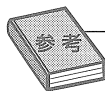
通話中の相手を切り替えて別の相手と通話します。

- ① 通話相手 Aさんと通話中にフッキングします  
通話相手 Aさんには、保留音が聞こえます。
- ② 「ブブブ…」という音が聞こえるので、Bさんに電話をかけます  
Bさんが電話に出ると話ができます。
- ③ もう一度フッキングすると「ブブッ、ブブッ」という音が聞こえ、その音が停止した後に Aさんとの通話に切り替わります  
※ 通話の切り替えは、何度でもできます。
- ④ 1秒以上受話器を置くか、フックスイッチを押すと現在通話中の相手との電話が切れます  
呼出音がなったら、受話器を取ります。  
保留中の相手と話ができます。

### ● 三者で話す

通話中に別の相手を呼び出して三者で通話します。

- ① 通話相手 Aさんと通話中にフッキングします  
通話相手 Aさんには、保留音が聞こえます。
- ② 「ブブブ…」という音が聞こえるので、Bさんに電話をかけます  
Bさんが電話に出ると通話ができます。
- ③ 続けて2回フッキング（すばやく2回押す）すると、AさんとBさんと自分の三者で通話ができます
- ④ 1秒以上受話器を置くか、フックスイッチを押すと電話が切れます



切替モードとミキシングモードは、2回フッキングすることで切り替わります。

## 設定方法

疑似三者通話または三者通話を選択します。

Windows98/Windows95、WindowsNT4.0 ☎ 5-19 ページ

Macintosh ☎ 5-34 ページ

電話機

受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][4][\*][2][5][\*][下記][#][#]→受話器を置く

1:三者通話

2:疑似三者通話

## 受話音量調整

通話中に電話機の受話音量を調整することができます。

### 操作方法

【\*】【#】を押すと受話音量が次のように切り替わります。

↳中→大→小↳ (3段階切替可能)

### 設定方法

初期状態は、【\* #入力で受話音量を変更しない】になっています。らくらくテレホン設定やATコマンドで【\* #入力で受話音量を変更する】に設定します。

☎5-50, 6-22 ページ

### 補足説明

● あらかじめ「受話音量」を選択することもできます。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☎5-4 ページ

電話機

受話器をあげる→【\*】【\*】【1】【\*】【下記】【\*】【1】【2】【\*】【下記】【#】【#】→受話器を置く

1:Aポート  
2:Bポート

0:音量小  
1:音量中  
2:音量大

### 注意!

通話相手の電話機によっては、相手が【\*】【#】を押すと自分側の電話機の受話音量が切り替わる場合があります。その場合は、ATコマンドで【\*#入力で受話音量を変更しない】(初期値)に戻してください。

## 2-2. 電話を受ける

### さまざまな着信機能

工場出荷時は、すべてのアナログポートですべての着信ができるようになっています。個々の設定をすることで、着信するポートを指定していきます。

機能名	条件	説明	BIGLOBE 加入
迷惑電話防止		着信させたくない電話番号を自動的に切断します。	—
識別着信	疑似	特定の電話のみを着信させます。	—
	INSなりわけ		
識別 リングング	疑似	電話の相手によって呼出音を変えます。	—
	INSなりわけ		
マイプライベート着信		かかってきた相手番号により着信（鳴らす）させるポートを割り当てます。	—
優先着信ポート指定		かかってきた電話を着信（鳴らす）させるポートの順番を指定できます。	—
自己サブアドレス		INS ネット 64 のダイヤルインサービス契約なしに自己サブアドレスへの着信を指定できます。	—
着信ダイヤルイン 複数選択		登録してある自分の複数の電話番号（契約者回線番号、ダイヤルイン番号）をまとめて1つのポートに着信させることができます。	—
キャッチホン	疑似	通話中に別の相手から着信があった場合、現在通話中の相手を保留することができる機能です。	—
	INSキャッチホン		
選択 キャッチホン	疑似	通話中にかかってきた特定の電話だけキャッチホンにすることができます。	—
	INSなりわけ		
お出かけ設定			—
おやすみモード		着信音が鳴らずに Aterm の液晶ディスプレイの絵文字が点滅します。	—
電話着信転送モード		下記の3つの電話着信転送ができます。	—
• 着信転送		INS ネット 64 の着信転送サービスを利用して着信転送（かかってきた電話を指定先に転送する）ができます。	—
• 疑似着信転送		Aterm の持つ機能として着信転送ができます。	—
• 電話番号着信転送モード		BIGLOBE を利用して発信者番号通知を伴う着信を UUI メール形式にして指定先へ転送することができます。	要
ボイスワープ転送モード		INS ネット 64 の INS ボイスワープサービスを利用して着信転送ができます。	—
フラッシュモード		着信音が鳴らずに Aterm のでかけるボタンが点滅します。	—
i・ナンバー		着信時に通知される i・ナンバー情報により、呼び出すポートを特定します。▶▶2-31 ページ	—

電話を受けることができない場合は、▶▶『お困りのときには』の1-1項の「電話が使えない」をご覧ください。

## 電話を受ける

Atermに接続した電話機自体の操作は、電話機の説明書をご覧ください。ここでは基本的な電話の受け方を説明します。

### 操作方法

- ① 電話がかかってきたら、受話器をあげて通話します  
相手からの発信者番号通知がある場合、通話相手の電話番号が表示されます。
- ② 通話が終わったら受話器を置きます

#### Atermの液晶ディスプレイ

アナログ チャクシン  
0 3 X X X X X X X X

アナログ A セツタン  
0 1 6

## 迷惑電話防止

### (迷惑電話やいたずら電話をシャットアウト)

迷惑電話やいたずら電話など受け付けたくない電話番号をあらかじめ登録しておけば、Atermが通信拒否を示して呼び出し音を鳴らす前に自動的に切断します。

いたずら電話がかかってきたら、その電話を迷惑電話として登録することができます。

受話器をあげる→[\*][\*][5][2]→[1][#]→受話器を置く

また、USBポートを使用している場合、着信履歴 for USBユーティリティを使って着信履歴の中から迷惑電話防止用の電話帳に登録することができます。

### 動作

登録しておいた電話番号からの電話には着信をしません。(最大20件)

発信してきた相手には話中音が聞こえます。

相手が発信者番号通知をしていない着信(非通知、表示圏外、公衆)も指定することができます。

### 利用条件

INS ネット 64 付加サービス「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約してください。契約をしていない場合、加入電話(アナログ網)からの発信者番号が通知されません。

### 設定方法

迷惑電話番号の登録をおこないます。

Windows98/Windows95 ☎5-14 ページ

Macintosh ☎5-38 ページ

着信履歴 for USB ユーティリティ ☎3-39 ページ

電話機 ☎5-56 ページ

## 識別着信

### (特定の電話のみを着信させる)


識別着信は、特定の相手からだけの電話を着信する機能です。着信する電話か、着信しない電話かの識別方法には次の2種類があります。

#### 1. (疑似) 識別着信

Atermが持っている機能です。(疑似) 識別着信用の電話帳に登録した電話番号からの着信だけをおこないます。(疑似) 識別着信用の電話帳には最大30件までの電話番号を登録することができます。

#### 2. INS なりわけ識別着信

INS ネット64のINSなりわけサービスのセキュリティ機能を使います。INS ネット64付加サービスのINSなりわけサービスの契約料と月々の使用料がかかります。INS なりわけサービスの契約後は、登録した電話番号からの着信だけをおこないます。

**INS なりわけサービス**  2-34 ページ

#### 動作

- (疑似) 識別着信を使用した場合は、(疑似) 識別着信用の電話帳に登録した電話番号からの着信だけをおこない、それ以外の電話番号からの着信は受け付けません。
- INSなりわけ識別着信を使用した場合は、INSなりわけサービス契約後に登録した電話番号からの着信だけをおこない、それ以外の電話番号からの着信は受け付けません。
- 識別着信と選択キャッチホンを同時にご利用になることはできません。


#### 利用条件


INS ネット64付加サービス「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約してください。契約をしていない場合、加入電話（アナログ網）からの発信者番号が通知されません。

#### 設定方法

識別着信の選択と(疑似) 識別着信を選択した場合は、(疑似) 識別着信用の電話帳に電話番号を登録します。

**Windows98/Windows95、WindowsNT4.0**  5-8, 5-12 ページ

**Macintosh**  5-38, 5-43 ページ

**電話機**  5-50 ページ

## 識別リングング

### (電話の相手によって呼出音を変える)

識別リングングは、特定の相手からの電話の呼出音を変える機能です。呼出音を変える電話の識別方法には次の2種類があります。

#### 1. 疑似なりわけ

Atermが持っている機能です。疑似なりわけ用の電話帳に登録した電話番号からの着信の呼出音を変えます。疑似なりわけ用の電話帳には最大30件までの電話番号を登録することができます。

#### 2. INSなりわけ

INS ネット64のINSなりわけサービスの識別リングング機能を使います。INS ネット64付加サービスのINSなりわけサービスの契約料と月々の使用料がかかります。INSなりわけサービスの契約後に登録した電話番号からの着信のときには呼出音を変えます。

INSなりわけサービス ㊦2-34 ページ

#### 動作

- 疑似なりわけを使用した場合は、疑似なりわけ用の電話帳に登録した電話番号からの着信の呼出音を変えます。それ以外の電話番号からの着信は通常の呼出音になります。
- INSなりわけを使用した場合は、INSなりわけサービス契約後に登録した電話番号からの呼出音を変えます。それ以外の電話番号からの着信は通常の呼出音になります。

#### 利用条件

INS ネット64付加サービス「INSナンバー・ディスプレイ」を契約してください。契約をしていない場合、加入電話（アナログ網）からの発信者番号が通知されません。

#### 設定方法

「疑似なりわけ」または「INSなりわけ」を選択します。  
「疑似なりわけ」を選択した場合は、疑似なりわけ用電話帳に電話番号を登録します。  
Windows98/Windows95、WindowsNT4.0 ㊦5-8, 5-13 ページ  
Macintosh ㊦5-38, 5-43 ページ  
電話機 ㊦5-50 ページ

## マイプライベート着信

### (かかってきた電話を特定の電話機だけに着信させる)

かけてきた相手の電話番号を自動的にAterm側で判別してAtermにつないでいるどの電話機を呼び出すかを決める機能です。相手によって呼び出す電話を変えたいときに便利です。

例えば、職場からの電話は仕事部屋の電話機へ、子供の友達からの電話は居間と子供部屋へ、親戚からの電話は全ての電話機へ、電話番号を通知してきていない電話は居間だけへといったように、相手の電話番号によって着信する電話機を指定することができます。電話番号は最大30件登録可能です。

#### 動作

マイプライベート着信用の電話帳に登録されている相手番号の着信を、指定した電話機で受け付けます。

相手が発信者番号通知をしていない着信（非通知、表示圏外、公衆）も指定することができます。

#### 利用条件

- INSネット64付加サービス「INSナンバー・ディスプレイ」を契約してください。契約をしていない場合、加入電話（アナログ網）からの発信者番号が通知されません。
- 「識別着信」を[使用する]にしているときは、発信者番号を通知していない電話や呼び分けテーブルに登録していない電話は受け付けることができません。

#### 設定方法

「マイプライベート着信を使用する」と相手の電話番号の登録（最大30件）と着信するポートを選択します。

Windows98/Windows95、Windows NT4.0 ☎5-11 ページ

Macintosh ☎5-34, 5-38 ページ

電話機 ☎5-49 ページ

#### 補足説明

マイプライベート着信に登録された相手の方からは、着信を指定したアナログポートに設定された電話番号以外では、電話をかけることはできません。

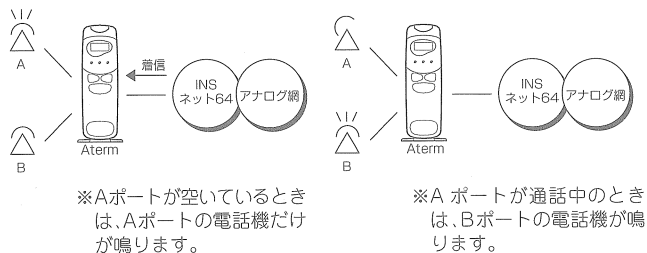


## 優先着信ポート指定

Aterm に接続している電話機を優先順位をつけて呼び出します。

### 動作

例) アナログ A ポートを「優先着信ポート」に指定した場合



### 設定方法

優先着信するポートを選択します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☎ 5-15 ページ

Macintosh ☎ 5-34 ページ

電話機

受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][4][\*][2][3][\*][下記][#][#]→受話器を置く

1:Aポートを優先着信ポートにする

2:Bポートを優先着信ポートにする

# 自己サブアドレス

## (自分への着信を指定する)

ダイヤルインサービスを利用しないで、自分への着信を指定させるときにサブアドレスを使用します。かけてくる相手がINS ネット 64 に加入している場合にだけ利用できる機能です。

### 動作

- サブアドレスのない着信は、自己サブアドレス登録の有無にかかわらず着信を受け付けます。
- サブアドレスがある着信は、登録した自己サブアドレスと全桁照合して一致したら着信を受け付けます。

着信時のサブアドレス通知 自己サブアドレス登録	なし	あり
なし	○ (注)	×
あり	○ (注)	○ (一致した時) × (不一致の時)

○：着信を受け付ける    ×：着信を受け付けない

### 注意!

Atermの設定を「サブアドレスなし着信をしない」に設定すると  
X (着信を受け付けない) ようになります。

### 設定方法

自己サブアドレスを登録します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☎ 5-8 ページ

Macintosh ☎ 5-32, 5-33 ページ

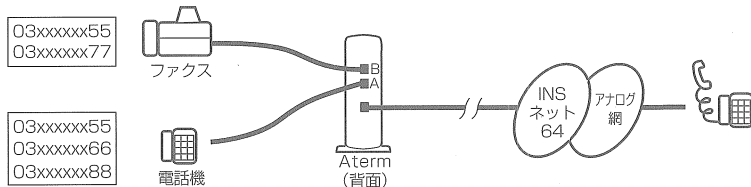
電話機 ☎ 5-50 ページ

## 着信ダイヤルイン複数選択

1つのアナログポートに複数の電話番号で着信することができます。

### 動作

電話番号によって設定したポートの電話機が着信をします。



呼び出される電話番号

### 設定方法

契約者回線番号やダイヤルイン番号登録と着信するポートを選択します。

Windows98/Windows95、WindowsNT4.0 ㊦5-5 ページ

Macintosh ㊦5-30 ページ

電話機 ㊦「はじめにお読みください」3-55 ページ

## キャッチホン

### (通信中にかかってきた電話を受ける)

通話中に別の相手から着信があった場合、現在通話中の相手を保留することができる機能です。保留されている相手には保留音が流れます。またINSナンバー・ディスプレイを契約している場合は「キャッチホン・ディスプレイ」機能を利用することができます。(㊦2-37 ページ)

キャッチホンには次の2種類があります。

#### 1. 疑似キャッチホン

Atermの機能として疑似的にキャッチホンをおこなうので、INSネット64の付加サービス契約をしなくても利用することができますが、INSネット64のB1、B2チャンネルを両方使うので、他の通信はできません。

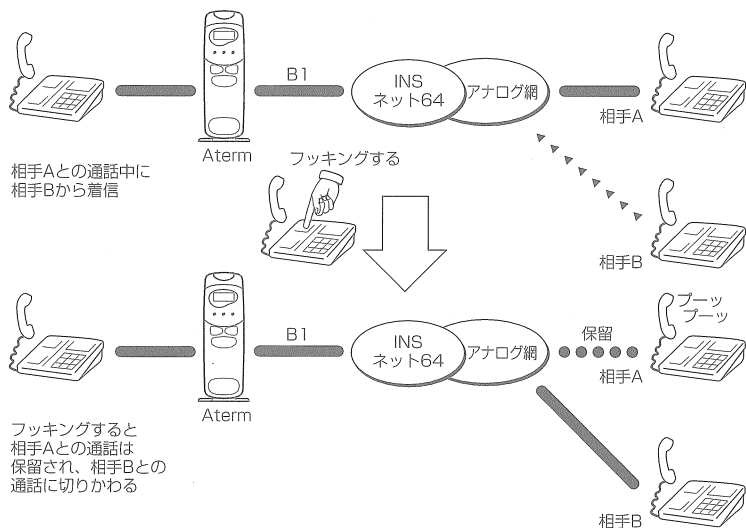
#### 2. INS ネット 64 の付加サービス「フレックスホン」のキャッチホン(INS キャッチホン)

INS ネット 64 の付加サービスの契約が必要になり、月々の付加サービス使用料がかかりますが、疑似キャッチホンと違い、使用するBチャンネルは1つだけなので空いているポートを使用することができます。

### 利用条件

疑似キャッチホン中は、他の通信はできません。

## 操作方法



- ステップ1 通話中に新たな相手から着信があると「プッ」という音が聞こえます
- ステップ2 フッキングして新たな相手と通話します
- ステップ3 通話相手を切り替えるときは、もう一度フッキングします

## 設定方法

疑似キャッチホンまたはINS キャッチホンを選択します。

Windows98/Windows95、Windows NT4.0 Ⅱ5-4 ページ

Macintosh Ⅱ5-32 ページ

### 電話機

受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][下記][\*][0][2][\*][下記][#][#]→受話器を置く

1:Aポート

1:INSキャッチホン

2:Bポート

2:疑似キャッチホン

### 注意!

電話機能を持つファクスやモデムにキャッチホンを設定した場合、通信中に着信があると通信エラーになりますのでご注意ください。

## 選択キャッチホン

### (通話中にかかってきた特定の電話だけを受ける)

通話中に特定の相手から着信があった場合だけ、現在通話中の相手を保留することができる機能です。保留されている相手には保留音が流れます。

選択キャッチホンには、次の2種類があります。

#### 1. 疑似選択キャッチホン

Atermが持っている機能です。通話中に(疑似)識別着信用の電話帳に登録した電話番号からの着信があると割込音を鳴らして電話がかかってきていることを知らせます。(疑似)識別着信用の電話帳には最大30件までの電話番号を登録することができます。

#### 2. INS なりわけキャッチホン

INSネット64のINSなりわけサービスの選択キャッチホン機能を使います。INSネット64付加サービスのINSなりわけサービスの契約と月々の使用料がかかります。通話中にINSなりわけサービスに登録した電話番号からの着信があると割込音を鳴らして電話がかかってきていることを知らせます。

INS なりわけサービス ㊦2-34 ページ

#### 動作

- 疑似選択キャッチホンを使用した場合は、通話中に(疑似)識別着信用の電話帳に登録した電話番号からの着信があると割込音を鳴らします。それ以外の電話番号からの着信には割込音は鳴らしません。
- INSなりわけキャッチホンを使用した場合は、通話中にINSなりわけサービス契約後に登録した電話番号からの着信があると割込音を鳴らします。それ以外の電話番号からの着信には割込音は鳴らしません。
- 識別着信と選択キャッチホンを同時にご利用になることはできません。

#### 利用条件

INS ネット64付加サービス「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約してください。契約をしていない場合、加入電話(アナログ網)からの発信者番号が通知されません。

#### 設定方法

識別着信の選択と「通話中着信時のみ使用可能」を設定します。

(疑似)選択キャッチホンを選択した場合は、(疑似)識別着信用の電話帳に電話番号を登録します。

Windows98/Windows95、WindowsNT4.0 ㊦5-8、5-12 ページ

Macintosh ㊦5-38、5-43 ページ

電話機 ㊦5-50 ページ

## お出かけ設定

お出かけ設定には、おやすみモード／電話着信転送モード／ボイスワープ転送モード／フラッシュモードの4種類があります。設定には、Aterm前面部のボタンを使います。でかけるボタンを押すと設定したモード名が液晶ディスプレイに表示されるとともにでかけるボタンが点灯し、設定モードに入ります。

### 動作

- 「おやすみモード」に設定すると、かかってきた電話の呼出音は鳴らさずに、液晶ディスプレイのアナログポートのピクトグラム（A、B）を点滅表示させて知らせます。着信している電話の受話器をあげると、通話することができます。おやすみモード中に着信があると、その後はでかけるボタンが点滅したままになります。

### 注意!

- ・ おやすみモード中の着信にコードレス電話の子機で応答する場合は、子機の「通話」や「外線」ボタンを押してください。ボタンを押さないと機種によっては数十秒で通話が切れることがあります。
- ・ [ナンバー・ディスプレイを使用する]の設定になっているアナログポートに着信があった場合、接続している電話機によっては発信者番号表示をおこなわないものもあります。
- ・ [モデム・ダイヤルインを使用する]の設定になっているアナログポートに着信があった場合、呼出音を鳴らさないので着信している電話機が分からなくなることがあります。
- ・ [アナログ・ダイヤルインを使用する]の設定になっているアナログポートに着信があった場合、電話機への着信はおこなわれません。
- ・ おやすみモード中、留守番電話は使用できません。

- 「電話着信転送モード」には、次のものがあります。
  - 「着信転送」 ㊦2-27 ページ  
(INS ネット 64 の付加サービス「着信転送機能」の契約が必要)
  - 「疑似着信転送」 ㊦2-27 ページ  
(INS ネット 64 の付加サービスの契約は不要)
  - 「電話番号着信転送（遊遊メールを利用）」 ㊦3-46 ページ  
(NECのインターネットプロバイダ「BIGLOBE」の加入、「遊遊メール」の契約、INS ネット 64 の「コンサルティング項目」の「発信者番号通知サービス」の契約が必要です。設定のしかたは3-3章の「Aterm のメール機能を利用する」(㊦3-45 ページ)を参照してください。)

電話番号着信転送（遊遊メールを利用）モードに設定すると、発信者番号通知している電話がかかってきた場合、着信した電話番号を遊遊メール形式にして「BIGLOBE」のメールサーバへ自動的に送信しますので、電子メールを受信して着信した電話番号を知ることができます。

例えば、03 - 1234 - 5678 から着信があった場合は、Aterm が自動的に「0312345678カラチャクシン」のメッセージを作成し、電子メールアドレスを付加した UI メールとして「BIGLOBE」へ送信します。転送先が不在の場合でも、電子メールで電話があったことを確認することができます。

- 「ボイスワープ転送モード」では、電話がかかってきたときに、これをボイスワープで他の電話に転送します。でかけるボタンを押すと Aterm がボイスワープセンタに自動的に電話をかけて「サービス開始」をおこないます。でかけるボタン点灯時にでかけるボタンを再度押すと Aterm が「ボイスワープセンタ」に自動的に電話をかけて「サービス停止」をおこないます。ボイスワープセンタの電話番号はあらかじめ設定しておきます。  
「INS ボイスワープ、INS ボイスワープセレクト」2-33 ページをご覧ください。
- 「フラッシュモード」はかかってきた電話の呼出音は鳴らさずに、でかけるボタンのランプを点滅させて知らせます。  
おやすみモードでは、いったん着信があると、その後はでかけるボタンが点滅したままになります。フラッシュモードでは電話がかかってきたときのみ点滅し、それ以外のときは点灯になります。  
フラッシュモードはおやすみ中に着信を受け付けないために準備しているモードです。そのため着信時に、どのポートへの着信であるかを液晶ディスプレイに表示することはありません。  
着信音を鳴らさずに、着信ポートを識別するためにはおやすみモードに設定してご利用ください。

## 操作方法

でかけるボタンを押します。ランプが点灯すれば起動中です。  
解除するときは、再度でかけるボタンを押します。ランプが消えます。



でかけるボタンをロックしているとお出かけ設定されません。誤ってボタンを押してお出かけ設定モードになってしまうことを防ぐことができます。

### ● でかけるボタンをロックする

Aterm 前面の SELECT ボタンを押しながら、でかけるボタンを押します。

デ`カケルボ`タンヲ  
ロックシマシタ

### ● でかけるボタンロックを解除する

再度、Aterm 前面の SELECT ボタンを押しながら、でかけるボタンを押します。

デ`カケルボ`タンヲ  
ロックカイジ`ヨシマシタ

## 設定方法

お出かけ設定の選択をします。

「電話着信転送モード」や「ボイスワープ転送モード」を選択した場合はそれぞれに詳細な設定も必要です。

Windows98/Windows95、Windows NT4.0 ㊦5-15 ページ

Macintosh ㊦5-40 ページ

### ● おやすみモードに設定する

Aterm 前面部のボタンを使って操作します。

操作を途中で止めるときは MENU ボタンを押します。 **Aterm の液晶ディスプレイ**

#### ① MENU ボタンを押します

1 : チャクシンリレキ

#### ② SELECT ボタンを 2 回押します

3 : オデ` カケモード

#### ③ ENTER ボタンを押します

「オデカケモードノセッテイデス」を 5 秒間表示した後、「1 : オヤスミモード」が表示されます。

オデ` カケモード` ノ  
セッテイデ` ス

↓ 5 秒後

1 : オヤスミモード`

#### ④ ENTER ボタンを押します

おやすみモードに設定されました。

オヤスミモード` ニ  
セッテイシマシタ



## ● 電話着信転送モードに設定する

Aterm 前面部のボタンを使って操作します。

操作を途中で止めるときは MENU ボタンを押します。

電話着信転送モードに設定するには、あらかじめ着信転送およびUUIメールの設定をしておく必要があります。着信転送の設定は「らくらくユーティリティ」を使っておこないます。着信転送の電話番号が設定されていない場合やボイスワープを契約した電話番号を設定していない場合は、④のときに「バンゴウラセットイシテクダサイ」が表示されます。

### ① MENU ボタンを押します

#### Aterm の液晶ディスプレイ

1：チャクシンリレキ

### ② SELECT ボタンを 2 回押します

3：オテ` カケモード

### ③ ENTER ボタンを押します

「オデカケモードノセットイデス」を 5 秒間表示した後、「1：オヤスミモード」が表示されます。

オデ` カケモード` ノ  
セットイデ` ス

↓ 5 秒後

1：オヤスミモード`

### ④ SELECT ボタンを押します

SELECT ボタンを押すたびに次のように変わります。

→「2：デンワテンソウスル」→「3：ボイスワープセットイ」→「4：フラッシュモード」→「1：オヤスミモード」

2：デ` ソワテンソウスル

### ⑤ ENTER ボタンを押します

電話着信転送モードに設定されました。

着信転送設定が NTT 着信転送に設定されているときは、「NTT チャクシンテンソウニセットイシマシタ」が表示されます。

着信転送設定が疑似着信転送に設定されているときは、「ギジチャクシンテンソウ」が表示されます。

着信転送設定が電話番号着信転送（遊遊メール）に設定されているときは「デンワバンゴウラメールシマス」が表示されます。

※ 着信転送の設定は、らくらくユーティリティでおこないます。

## ● ボイスワープ転送モードに設定する

Aterm 前面部のボタンを使って操作します。

操作を途中で止めるときは MENU ボタンを押します。

Aterm の液晶ディスプレイ

- ① MENU ボタンを押します

1 : チャクシンリレキ

- ② SELECT ボタンを 2 回押します

3 : オデ` カケモード`

- ③ ENTER ボタンを押します

「オデカケモードノセッテイデス」を 5 秒間表示した後、「1 : オヤスミモード」が表示されます。

オデ` カケモード` ノ  
セッテイデ` ス

↓ 5 秒後

1 : オヤスミモード`

- ④ SELECT ボタンを 2 回押して、「3 : ボイスワープセッテイ」を表示させます

SELECT ボタンを押すたびに次のように変わります。  
→「1 : オヤスミモード」→「2 : デンワテンソウ  
スル」→「3 : ボイスワープセッテイ」→「4 : フ  
ラッシュモード」

3 : ホ` イスワープ`  
セッテイ

- ⑤ ENTER ボタンを押します

ボイスワープ転送モードに設定されました。

ホ` イスワープ` ニ  
セッテイシマシタ

## ● フラッシュモードに設定する

Aterm 前面部のボタンを使って操作します。  
操作を途中で止めるときはMENU ボタンを押します。

### ① MENU ボタンを押します

Aterm の液晶ディスプレイ

1 : チャクシンリレキ

### ② SELECT ボタンを2回押します

3 : オデ` カケモード`

### ③ ENTER ボタンを押します

「オデカケモードノセッテイデス」を5秒間表示した後、「1 : オヤスミモード」が表示されます。

オデ` カケモード` ノ  
セッテイデ` ス

↓ 5秒後

1 : オヤスミモード`

- ④ SELECT ボタンを3回押して、「4 : フラッシュモード」を表示させます  
SELECT ボタンを押すたびに次のように変わります。  
→ 「1 : オヤスミモード」→ 「2 : デンワテンソウスル」→ 「3 : ボイスワープセッテイ」→ 「4 : フラッシュモード」

4 : フラッシュモード`

### ⑤ ENTER ボタンを押します

フラッシュモードに設定されました。

フラッシュモード` ニ  
セッテイシマシタ

## 2-3. 電話を転送する

### 内線転送

(かかってきた電話を他の内線にまわす)

外線からかかってきた電話やファクスを、他のアナログポートの電話機またはファクスに転送することができます。

#### 操作方法

① 外線と通話中に1回フッキングします

ブブブと聞こえます。(外線相手には疑似保留音が聞こえます)

② 【#】 【\*】 **【呼び出す電話機の番号】** を続けて押します

【1】：アナログAポートの電話機

【2】：アナログBポートの電話機

③ 転送先の呼出音が鳴ります。受話器を置きます。

③ 転送先の呼出音が鳴り、転送先の相手がでたら転送することを伝えて受話器を置きます。

④ 外線相手と転送相手が通話できます。

#### 設定方法

初期状態で使用できます。

#### 注意!

- ・ 同一回線にバス接続されている別のターミナルアダプタのアナログポートに接続した電話機への転送はできません。
- ・ 停電時にご利用できません。
- ・ 転送中(相手を呼出中)にフッキングすると、相手の呼び出しをやめて通話を再開します。
- ・ フッキング後、次の操作をしないでしばらくすると通話に戻ります。
- ・ 三者通話ご利用中は、内線転送はできません。

## 着信転送

### (かかってきた電話を別の電話番号につなげる)

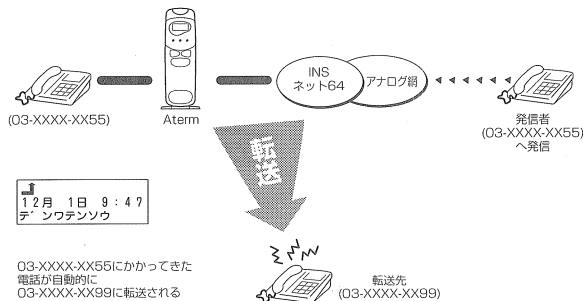
かかってきた電話を、登録しておいた電話番号へ自動的に転送します。  
着信転送には次の2種類があります。

#### 1. 疑似着信転送

Atermの機能として着信転送をおこなうので、INS ネット 64 の付加サービス契約をしなくても利用することができますが、INS ネット 64 の B1、B2 チャネルを両方使うので、他の通信はできません。

#### 2. INS ネット 64 の付加サービスの着信転送

INS ネット 64 の付加サービス契約が必要になり、月々の付加サービス使用料がかかりますが、疑似着信転送と違い、使用する B チャネルは 1 つだけなので空いているポートを使用することができます。



#### 利用条件

- 疑似着信転送中は、内線通話以外の通信はできません。
- 疑似着信転送の場合、転送トークや転送元トークは流れません。

#### 設定方法

着信転送の方法を選択し、転送元・転送先の電話番号を登録しておきます。着信転送するときは、でかけるボタンを押します。ランプが点灯すると、起動中になります。解除するときは、再度でかけるボタンを押します。ランプが消えます。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☎ 5-16, 5-17 ページ  
Macintosh ☎ 5-35 ページ  
電話機 ☎ 5-49 ページ

## 補足説明

- 設定すると、液晶ディスプレイに「↑」のピクトグラムが表示されます。
- Atermまでの通話料金は発信者に、Atermから転送先の通話料金はAterm側にかかります。疑似着信転送を使う場合、かかった料金はアナログAポートに蓄積されます。
- この機能はアナログポートに電話機を接続しなくても利用できます。
- Atermに着信があっても呼出音は鳴りません。
- 疑似着信転送を使う場合、INSネット64申し込み内容が通常通知（通話ごと非通知）ならば、転送先には契約者回線番号を通知します。

## 識別着信転送

### (かかってきた特別の電話を別の電話番号につなげる)

特定の相手からかかってきた電話を、登録しておいた番号へ自動的に転送します。着信転送（疑似着信転送、着信転送）の転送条件を次の2種類から選択することにより識別着信転送をおこないます。

1. (疑似) 識別着信 ㊦ 2-12 ページ
2. INS なりわけのセキュリティ機能 ㊦ 2-34 ページ

## 利用条件

INS ネット 64 付加サービス「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約してください。契約をしていない場合、加入電話（アナログ網）からの発信者番号が通知されません。

## 設定方法

- 識別着信の設定をおこないます。  
Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ㊦ 5-8 ページ  
Macintosh ㊦ 5-43 ページ  
電話機 ㊦ 5-50 ページ
- 着信転送の設定をおこないます。  
併せて、転送条件と転送元・転送先の電話番号を登録します。  
Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ㊦ 5-16, 5-17 ページ  
Macintosh ㊦ 5-35 ページ  
電話機 ㊦ 5-49 ページ

# 2-4. 着信履歴を見る／かける

## 着信履歴表示／着信履歴先発信

最新の着信履歴を50件まで蓄積することができます。  
 着信履歴として発信者番号、着信時間、応答の有無、応答したアナログポートの情報を液晶ディスプレイに表示します。また、着信履歴を確認しながらその電話番号に発信する着信履歴先発信もできます。  
 51件以降は、古い履歴順に自動的に削除されます。

### 操作方法

ステップ1

#### 受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも表示できます。

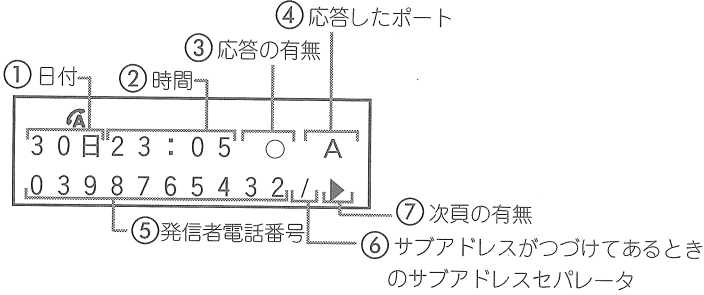
Atermの液晶ディスプレイ



ステップ2

#### 【\*】【\*】【5】【1】を押します


最新の着信履歴が表示されます。



- ① 着信した日付を表示します。
- ② 着信した時間を表示します。
- ③ 「○」は応答したことをあらわします。「×」は応答していないことをあらわします。
- ④ 応答した場合、ここに応答したポートを表示します。
- ⑤ 発信者電話番号を表示します。発信者番号が「ヒツウチ、コウシュウデンワ、ヒョウジケンガイ」のときは、電話番号の替わりにそれぞれの表示をします。  
 ☎1-8 ページ
- ⑥ サブアドレスがつづけてあるときのサブアドレスセパレータをあらわします。
- ⑦ 「▶」は続きの情報があることをあらわします。  
 以下の操作で着信履歴を参照してください。


- 次の頁を見るときは、【6】を押します。

### Atermの液晶ディスプレイ


  
 3 0 日 2 3 : 0 5    ○    A  
 0 3 9 8 7 6 5 4 3 2 / ▶


◀ 0 1 2 3 4 ■

- 前の頁に戻るときは、【4】を押します。

  
 3 0 日 2 3 : 0 5    ○    A  
 0 3 9 8 7 6 5 4 3 2 / ▶


- 1つ新しい履歴を表示するときには、【2】を押します。  
1つ新しい履歴が無い場合は、一番古い履歴が表示されます。
- 1つ古い履歴を表示するときには、【8】を押します。  
1つ古い履歴が無い場合は、一番新しい履歴が表示されます。

  
 1 日    1 : 2 0    ○    B  
 P : ヒツウチ


  
 3 0 日 2 3 : 0 5    ○    A  
 0 3 9 8 7 6 5 4 3 2 / ▶

ステップ3


着信履歴先に電話をかけるときは、電話番号が表示されているときに【#】を押します

  
 アナログ A    ハッシン  
 0 3 9 8 7 6 5 4 3 2 / 0

- 履歴データを消去するときには、【\*】を押します。

  
 ショウキョシマス

もう一度【\*】を押すと「ショウキョシマシタ」が表示され、すべての履歴データが消去されます。

  
 ショウキョシマシタ

ステップ4

終了するときには受話器を置きます

1 2 月    1 日    9 : 5 5

**注意!**

Atermの電源を切ると、全ての着信履歴データは消去されます。



# 2-5. INSネット64のサービスについて

## i・ナンバー

INS ネット 64 の i・ナンバーを利用すると、2つの電話番号を持つことができます。相手の方がかけてきたときに通知される i・ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。

1つ目の電話番号（契約者回線番号）が i・ナンバー情報 1、2つ目の電話番号（ダイヤルイン番号）が i・ナンバー情報 2 となります。

### 利用条件

INS ネット 64 の契約時に i・ナンバーの契約をします。

### 設定方法

- 「i・ナンバーを使用する」に設定します。
- 「i・ナンバーに対応する電話番号」の入力と「着信するポート」を選択します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☞ 5-6 ページ

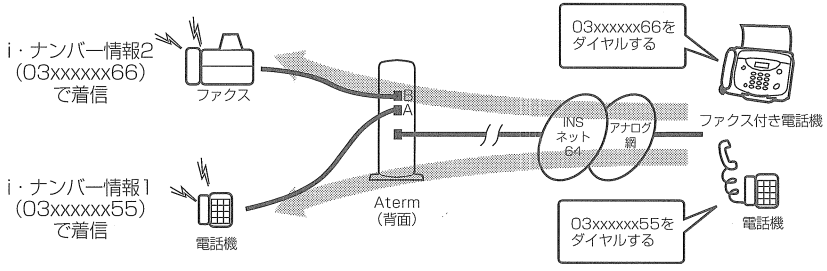
Macintosh ☞ 5-31 ページ

電話機 ☞ 『はじめにお読みください』 3-46 ページ

### i・ナンバーで電話機とファクスを呼び分ける例

アナログポート	アナログポート接続機器	電話番号	着信するポート	
			A	B
A	電話機（工場出荷状態）	i・ナンバー情報 1 03xxxxxx55	✓	
B	FAX / モデム	i・ナンバー情報 2 03xxxxxx66		✓

※ アナログポートを「使用しない」に設定した場合は、どの着信も受け付けません。



### 補足説明

3つ以上の電話番号で呼び分けたい場合は、ダイヤルインサービスをご利用ください。（☞ 次ページ）

## ダイヤルインサービス

INS ネット64のダイヤルインサービスを利用すると、2つ以上の番号で各アナログポートを呼び分けることができます。

### 利用条件

INS ネット64の契約時にダイヤルインサービスを契約します。同時に「グローバル着信」を「利用」という項目に必ずチェックをしてください。

### 設定方法

- 「契約者回線番号のグローバル着信」を「使用する」にします。
  - 「着信番号」の入力と「着信するポート」を選択します。
  - 契約者回線番号（グローバル着信）への呼び出しの場合には、INS ネット64 から着信番号情報が通知されません。
  - ダイヤルイン番号への呼び出しの場合には、INS ネット64 からの着信では番号情報が通知されるので、その情報をもとに通信機器を呼び分けられます。
- ※ 契約者回線番号（グローバル着信）への着信を特定のポート呼びだしに使用すればダイヤルイン番号1つ分として使うことができます。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☎ 5-5 ページ

Macintosh ☎ 5-30, 5-32 ページ

電話機 ☎ 『はじめにお読みください』 3-47 ページ

### ● 契約者回線番号で呼び出す場合

- 契約者回線番号のグローバル着信を「利用する」に設定（工場出荷状態）
- 電話番号に契約者回線番号を入力してから契約者回線番号で着信するポートを選択 [グローバル着信を利用する] に設定することで、契約者回線番号の着信では電話番号の通知がなくても呼び出します。

ダイヤルイン番号の着信は、選択した番号と異なる番号が通知されるので、呼び出しません。

### ● ダイヤルイン番号で呼び出す場合

- 電話番号のダイヤル1番から7番まで契約した数のダイヤルイン番号を入力してから着信するポートを選択

電話番号の通知がない契約者回線番号の着信は呼び出しません。ダイヤルイン番号の着信は、電話番号が通知されるので、選択した番号と同じ場合に呼び出します。

**注意!**

INS ネット64 契約が、「グローバル着信」を「利用」となっている場合、Aterm の設定がグローバル着信を「利用しない」となっている場合には、そのポートは契約者回線番号で呼び出しできなくなりますので注意してください。

## INS ボイスワープ、INS ボイスワープセレクト

「INS ボイスワープ」、「INS ボイスワープセレクト」はフレックスホンの着信転送サービスとは異なり、ネットワーク転送型の転送サービスです。

INS ボイスワープ、INS ボイスワープセレクトの詳細については、INS ネット 64 の窓口にお問い合わせください。

Atermは、INSボイスワープ、INSボイスワープセレクトに対応したスティミュラスプロトコル手順をサポートしておりますので、これらサービスの全ての機能をご利用になることができます。

### 利用条件

INS ネット 64 の付加サービスの「INS ボイスワープ」「INS ボイスワープセレクト」を契約します。

### 設定方法

INS ボイスワープは、契約者回線番号、ダイヤルイン番号毎におこないます。INS ボイスワープを契約した番号を契約電話番号や起動用契約者番号として登録しておきます。

ご利用のときに、でかけるボタンを押します。ランプが点灯すると、起動中になります。解除するときは、再度でかけるボタンを押します。ランプが消えます。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☎ 5-18 ページ

Macintosh ☎ 5-40 ページ

電話機 ☎ 5-51 ページ

### 補足説明

転送先の電話番号は、INS ボイスワープの説明書を参照して電話機から設定してください。

## INS なりわけサービス

INS なりわけサービスは、特定の相手からの着信であることを知らせるサービスです。あらかじめ登録した電話番号からの着信には「識別着信情報」を付加した着信がおこなわれ、登録されていない電話番号からの着信には「識別着信情報」のない通常の着信がおこなわれます。この「識別着信情報」の有無によって Aterm は、次のような機能を使うことができます。

### ● 識別リング機能 Ⅱ☎ 2-13 ページ

あらかじめ登録した電話番号からの着信を通常とは異なる呼出音で知らせます。

### ● セキュリティ機能（迷惑電話防止） Ⅱ☎ 2-11 ページ

あらかじめ登録した電話番号からの着信だけをおこないます。登録していない電話番号からの着信はおこないません。

### ● 選択キャッチホン機能 Ⅱ☎ 2-19 ページ

通信中に着信があった場合、あらかじめ登録した番号からの着信だけに割込音を鳴らして知らせます。

INS なりわけサービスを利用するには、接続されている通信機器が「スティミュラスプロトコル（キーパッドプロトコル）手順」をサポートしている必要がありますが、Aterm は、この手順をサポートしています。

電話番号の登録には、Aterm のアナログポートに接続した電話機を使っておこないます。INS なりわけサービスの詳細については、INS ネット 64 の窓口にお問い合わせください。

### 利用条件

INS ネット 64 の付加サービスの「INS なりわけサービス」を契約します。

### 設定方法

INS なりわけサービスは、i・ナンバーまたは契約者回線番号、ダイヤルイン番号毎におこないます。

INS なりわけサービスを契約した番号を発信者通知番号として登録します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 Ⅱ☎ 5-4 ページ

Macintosh Ⅱ☎ 5-32, 5-33 ページ

電話機 Ⅱ☎ 『はじめにお読みください』 3-46, 3-47 ページ

### 補足説明

電話機の設定や種類によっては鳴らないことがあります。

## INSナンバー・ディスプレイ (オプション: INSナンバー・リクエスト)

電話に出る前に発信者の電話番号がAtermの液晶ディスプレイやナンバー・ディスプレイ対応機器に表示されます。

着信時に発信者の電話番号を、または番号が通知されないときにその理由を通知するサービスです。

もともと、相手がINS ネット64 加入者、デジタル携帯電話、PHSからの着信では、相手の電話番号を、Atermの液晶ディスプレイとアナログポートに接続したナンバー・ディスプレイ対応機器に表示させることができます。INSナンバー・ディスプレイサービスに加入すれば、アナログ網からの発信者の電話番号も表示できるようになります。

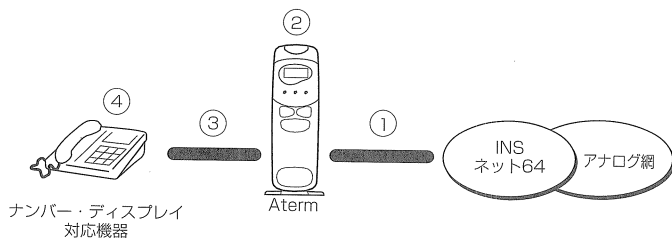
INSナンバー・リクエスト ☎ 次ページ

### 利用条件

INS ネット64 の付加サービスの「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。

### 動作

- ① ネットワークから発信者番号が付加された着信があります。(液晶ディスプレイにはこの時点で番号が表示されます)
- ② その発信者番号をモデム信号に変換します。
- ③ 「ナンバー・ディスプレイを使用する」と設定したアナログポートにモデム信号を送出します(電話機は鳴動しません)。
- ④ モデム信号を受信したナンバー・ディスプレイ対応機器が発信者番号を表示します。



### 設定方法

- 「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定します。
- サブアドレス表示対応のナンバー・ディスプレイ対応機器にサブアドレスも表示させるには「サブアドレスを通知する」に設定します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ☎ 5-4, 5-8 ページ

Macintosh ☎ 5-44 ページ

電話機 ☎ 5-50 ページ

## 電話番号以外の表示

- 相手が通常非通知（回線ごと非通知）、または一般電話・公衆電話から「184」（イヤヨ）をつけた場合  
→ 「ヒツウチ」と表示されます。
- 相手が公衆電話からかけた場合  
→ 「コウシュウデンワ」と表示されます。
- 相手がサービス地域以外の電話からかけた場合  
→ 「ヒョウジケンガイ」と表示されます。

### 補足説明

- ナンバー・ディスプレイ対応機器の機種によっては、発信者番号が正常に表示されない場合があります。
- ナンバー・ディスプレイ対応機器の通話中に新たな着信があっても発信者番号は表示されません。また通話が終了してすぐに呼出音が鳴った場合にも発信者番号は表示されません。
- INS ナンバー・ディスプレイ着信中はらくらくユーティリティの **OK** や **登録** ボタンをクリックしないでください。
- 1つのアナログポートに複数のアナログ端末を接続した場合には、ナンバー・ディスプレイ対応機器が接続されていても正常に発信者番号通知をおこなえません。
- PHS 事業者・デジタル携帯電話によっては表示がおこなわれない場合があります。
- INS ナンバー・ディスプレイサービスに加入していない場合で、Atermを「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定するとアナログ網から着信があった場合、Atermに相手の電話番号は表示されません。また、接続したナンバー・ディスプレイ対応機器には「ヒョウジケンガイ」と表示されます。

### オプション：INS ナンバー・リクエスト

（INS ナンバー・ディスプレイをご契約の方がお申し込みいただけるオプションです）  
電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に、「こちらは〇〇〇△△△の□□□□です。おそれいりますが、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください」と音声で伝える機能です。

この場合、着信音は鳴りません。（かけた人は電話料金がかかります。）

### 利用条件

INS ネット 64 の付加サービスの「INS ナンバー・ディスプレイ」のオプションの「INS ナンバー・リクエスト」を契約します。

## キャッチホン・ディスプレイ

通話中に別の相手から着信があった場合、その相手の電話番号をAtermの液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に表示します。表示される内容はINSナンバー・ディスプレイの場合と同じです。

### 利用条件

Atermの疑似キャッチホンを利用するか、INSキャッチホンを利用するかによって次の契約と機器が必要です。

	Atermの疑似キャッチホンを利用する	INSネット64のキャッチホンを利用する
必要なINSネット64の契約	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイフレックスホンの「INSキャッチホン」機能
必要な機器	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器	

キャッチホン ㊦ 2-17 ページ

INSナンバー・ディスプレイ ㊦ 2-35 ページ

### 動作

- ① 通話中に新たな相手から着信があると「プブッ」という音が聞こえます。
- ② 「プブッ・・・」のあと「ピッ」という音が聞こえると、Atermの液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器のディスプレイに着信した相手の発信者番号が表示されます。
- ③ フッキングして新たな相手と通話します。(この間、最初の相手には保留音が流れません。)
- ④ もう一度フッキングすると最初の相手と通話できます。フッキングするたびに通話相手が切り替わります。

### 設定方法

- 疑似キャッチホンまたはINSキャッチホンを選択します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ㊦ 5-4 ページ

Macintosh ㊦ 5-32 ページ

電話機 ㊦ 2-18 ページ

- 「ナンバー・ディスプレイ」または「ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルイン」を「使用する」に設定します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ㊦ 5-4 ページ

Macintosh ㊦ 5-44 ページ

電話機 ㊦ 5-50 ページ

- 「キャッチホン・ディスプレイ」を「使用する」に設定します。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ㊦ 5-3 ページ

Macintosh ㊦ 5-32 ページ

電話機

受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][下記][\*][1][8][\*][下記][#][#]→受話器を置く

1:Aポート	0:使用しない
2:Bポート	1:使用する

### 補足説明

- キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器の機種によっては、発信者番号が正常に表示されない場合があります。
- キャッチホン・ディスプレイの割り込み音は「ププッ・」のあと「ピッ」と鳴ります。「ピッ」という割り込み音のときに話中の声が重なると、1秒程度通話が途切れ、電話番号が正しく表示されないことがあります。
- お出かけ設定の「おやすみモード」「フラッシュモード」、または停電時の動作の「ブザーを鳴らす」のいずれかを設定していると、電話番号が正しく表示されないことがあります。
- 内線通話中に外線を着信したときはキャッチホンの設定にかかわらず、キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器のディスプレイに着信した発信者番号が表示されます。
- キャッチホン・ディスプレイ着信中はらくらくユーティリティの **OK** や **登録** ボタンをクリックしないでください。
- 1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続している場合は、キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器が接続されていても正常に発信者番号通知ができません。



## 通信中転送

### (かかってきた電話を他の人に転送する)

通話中に別の相手呼び出して、通話を転送できます。

Bチャンネルは1本のみ使用するので、空いているポートを使用することができます。

#### 操作方法

- ステップ1 通話中にフッキングします
- ステップ2 「ププブ…」という音が聞こえるので、転送先の電話番号をダイヤルします  
通話相手には、保留音が聞こえます。
- ステップ3 転送先の相手と通話します
- ステップ4 もう一度フッキングします
- ステップ5 「ププッ、ププッ」という音が聞こえている間に受話器を置きます  
通話中だった相手と、転送した相手が通話できます。

#### 設定方法

アナログポートの設定をします。

Windows98/Windows95、Windows NT4.0 ⑤5-19 ページ

Macintosh ⑤5-34 ページ

電話機

受話器をあげる→[\*][\*][1][\*][4][\*][2][6][\*][下記][#][#]→受話器を置く

0: 使用しない  
1: 使用する



参考

転送先の相手が応答する前に転送する(応答前通信中転送)こともできます。

操作方法ステップ2で転送先の電話番号をダイヤルした後、転送先の相手が電話に出る前にフッキングしてから受話器をおいてください。

注意!

転送先がアナログのナンバー・ディスプレイを契約している回線の場合には、応答前通信中転送はご利用できません。  
受話器をおくと、着信音が鳴り転送をしません。

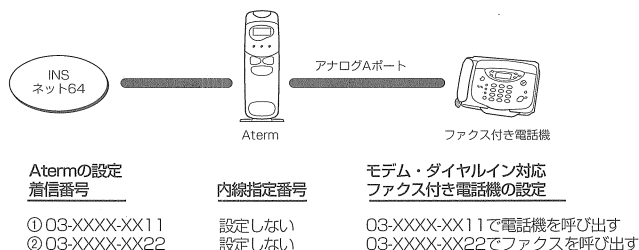
## モデム・ダイヤルイン対応

着信時に着信した電話番号を、モデム信号で電話機等に送出するサービスです。モデム・ダイヤルイン対応の、ファクス付き電話機のファクス着信と電話着信の呼びわけやホームテレホンの内線直接呼び出しなどで使用します。

### 利用条件

INS ネット64 付加サービスのダイヤルインサービスまたはi・ナンバーの契約が必要です。

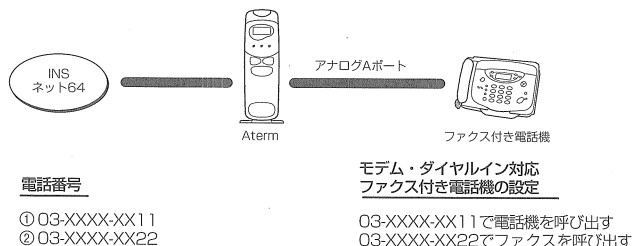
#### ● ダイヤルインサービスを利用した場合



- ① 03-XXXX-XX11でかかってきた場合、同番号をモデム信号で送出します。ファクス付き電話機の電話が呼び出されます。
  - ② 03-XXXX-XX22でかかってきた場合、同番号をモデム信号で送出します。ファクス付き電話機のファクスが呼び出されます。
- ※ 内線指定番号を設定すれば、着信番号（かかってきた電話番号）を内線指定番号に変換して送出します。

#### ● i・ナンバーを利用した場合

i・ナンバーの設定により、設定した電話番号に対応するアナログポートを呼び出します。



## 設定方法

- ・「モデム・ダイヤルインを使用する」を設定します。
- ・アナログポートに電話番号をそのまま送るか、内線指定番号に変換して送出するかを設定します。送出する番号は、複数設定可能です。
- ・サブアドレスを送出する場合は、サブアドレスを通知する設定にします。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ㊦ 5-3, 5-7 ページ

Macintosh ㊦ 5-30 ~ 5-33, 5-44 ページ

電話機 ㊦ 5-50 ページ

## 補足説明

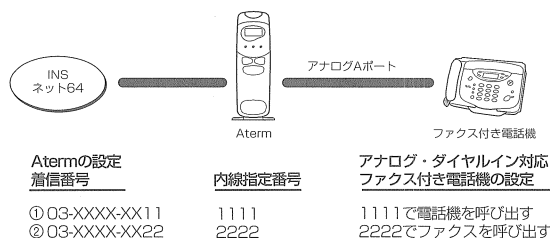
- ・INSナンバー・ディスプレイ契約時は、アナログ・ダイヤルインの使用はできませんので、モデム・ダイヤルイン機能をご使用ください。
- ・ファクス付き電話機でキャッチホンを設定したときは、電話中にファクスあての着信が入った場合も電話機に「ププッ」という音が聞こえます。
- ・ファクス付き電話機でリング呼び返し動作の場合は、ファクスと電話が両方呼び出されます。

## アナログ・ダイヤルイン対応

着信時に着信した電話番号を、プッシュボタン信号で電話機等に送出するサービスです。アナログ・ダイヤルイン対応のファクス付き電話機でファクス着信と電話着信の呼びわけやホームテレホンの内線直接呼び出しなどで使用します。

## 利用条件

INSネット64の付加サービスのダイヤルインサービスまたはi・ナンバーの契約が必要です。



- ① 03-XXXX-XX11 でかかってきた場合、Atermは、設定した内線指定番号 1111 を送出します。  
ファクス付き電話機の電話が呼び出されます。
  - ② 03-XXXX-XX22 でかかってきた場合、Atermは、設定した内線指定番号 2222 を送出します。  
ファクス付き電話機のファクスが呼び出されます。
- ※ 内線指定番号を設定すれば、着信番号（かかってきた電話番号）を内線指定番号に変換して送出します。

## 設定方法

- 「アナログ・ダイヤルインを使用する」を設定します。
- アナログポートに電話番号を4桁の内線指定番号に変換して送出するように設定します。送出する番号は、最大8個まで設定可能です。

Windows98/Windows95, Windows NT4.0 ㊦ 5-3 ~ 5-7 ページ

Macintosh ㊦ 5-30, 5-33, 5-44 ページ

電話機 ㊦ 5-50 ページ

## 補足説明

- 「アナログ・ダイヤルインを使用する」に設定したアナログポートに対しては、内線通話や内線転送はできません。
- INSナンバー・ディスプレイ契約時は、アナログ・ダイヤルインの使用はできませんので、モデム・ダイヤルイン機能をご使用ください。
- おやすみモード設定中、INSなりわけ、疑似なりわけ利用中ならびにブザー呼出時は、ご利用になれません。